

日頃インターネットを利用して思う

「NTT が元凶となり、日本の IT は足踏み状態である。」

ユーザーのインターネットへの要望は日々高まっています。

関連事業者はそれに答えるべく、しのぎをけずりながら新しいサービスの提供を想像しています。

ところが、自社の権益・利益を最大限に守ろうとしている NTT がこの流れををせき止めています。

インターネットの接続料金が欧米並みに下がれば、利用者は爆発的に増えるでしょう。そうすることにより、インターネット関連技術および産業は急成長する可能性を持っています。

しかし、現在のように NTT の計画に合わせては遅すぎます。

接続料金の引き下げは、できるだけ早く大きくすべきだと思います。

接続業者が新しいサービスをする時、「NTT の工事待ち」でなかなか開始出来ないと言う話を聞きます。

これは、NTT の作戦なのでしょうか？

また、NTT は宣伝等に巨額の費用を投じていますが、それだけの利益があるのならもっと各種サービスを安くしてもらいたいと思います。

随分と経営の無駄があるのではないのでしょうか。

公社のころの体質が抜けていない「官製殿様企業」という感じを持ちます。

(この辺は民営化が近いといわれている NHK と似ていますね)

NTT の権益を最低限にまで押さえ、また、他の企業の活動のさまたげにならないようにしない限り、日本は IT の時代に乗り遅れます。

「NTT」ではなく「自由な競争」が、次の時代の通信を押し進めるのです。

フジワラトシカズ

FUJIWARA, Toshikazu